



ちよっ

と

よろしいですか!

毎月発行 県政情報紙 2008年6月 Vol.13

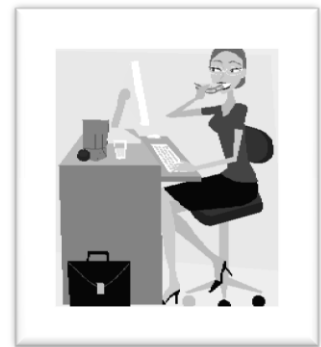
What's
New?

「パートタイム労働法」改正されても、 格差解消は進まない! 同一価値労働に同一賃金を

非正規労働者が増加する中で、パートタイム労働者は、07年には全国で約1155万人に達し、労働者の4人に1人という割合です。さらに正社員と同じ仕事に従事しているパート労働者は、01年40.7%だったのが、06年には51.9%と大幅に増えています。しかし、正社員と同じ仕事をしていてもパートの賃金を低く抑えている事業所は77%もあるのが実態です。

この4月1日に、正社員との差別的取り扱いを一部禁ずる「改正パート法」が施行されました。しかし、職務内容や転勤など人材活用の仕組み、契約期間の定めなど正社員並みのパートとの差別的取扱いは禁止したが、その他のフルタイムパートなどは努力義務にとどまったため、差別禁止の対象が、実質1割くらいの一部のパートに限定され、パートの二極化を招き、均等待遇の実現からかけ離れた結果となりました。

諸外国では、性差別をなくし「同一価値労働」の視点で賃金などの均等待遇を進めています。日本のパートの圧倒的多数は女性で、パートの平均時給は2006年で904円と低い。しかも、使用者側が非正規労働者を雇用調整やコスト削減策として簡単に使えるため、パート側では契約を何度も更新しながら続けるなど不安定な雇用状況です。また、パートから正社員になれば、長時間労働の問題など別課題が控えています。こんな悪循環を解決していくには、正社員を含めた働き方を見直し、同一価値労働同一待遇の法律化が求められます。



神奈川県では、「公共的施設における禁煙条例（仮称）」検討中!

県内のがん撲滅のため、また受動喫煙を防ぐため、公共施設での喫煙を禁止する条例が、制定されようとしています。県議会常任委員会では、遊技場や居酒屋、一杯飲み屋などまで条例で規制するのはいかなるものか。などの意見が出され、まだ内容の検討の余地がありそうです。しかし、知事は、香港や上海の先進事例を視察し、全国初の条例制定を目指しています。





9 条世界会議に参加して 「憲法 9 条」は世界の希望！

5月のゴールデンウィークに千葉市の幕張メッセで開かれた会議に参加しました。7千人入る会場が満杯で、3千人が外にあふれるという関心の高さでした。全体集会では、ノーベル平和賞を受けたマイレッド・マグワイアさんやハーグ平和アピール代表のコーラ・ワイスさんの講演があり、人類の真の敵は貧困、病気、教育の欠如、テロ、人権侵害、温暖化などで、戦争の武器ではこれらの敵は倒せない、今こそ戦争廃絶のときと強くアピールを呼びかけました。その他 40カ国近く 150人以上の海外ゲストを交えた分科会では、沖縄基地での性暴力の犠牲になる女性たちを支援する会の声、イラクで人質となった高遠さんの自分の命が助かったのは憲法 9 条があったからという発言、イラク戦争は間違っていると語る元米兵士、逆に元イラク兵のイラク内での人道支援活動など大勢のゲストたちからの憲法 9 条の意義や核兵器廃絶に向けたアピールは、感動を呼びました。

折りしも、自衛隊のイラク派兵が憲法違反だとする、名古屋高裁の判決がでたこともあり、武力によらない平和を地球規模で呼びかけるとする「戦争を廃絶するための 9 条世界宣言」の採択には、拍手が鳴り止みませんでした。これだけ多くの市民の関心と賛同を得た会議で、私が感じたことは、非戦の憲法 9 条は、日本だけのものではなく、世界の希望であり、特にアジアの平和をつくりだしている意義のあるものと再認識し、勇気をもって帰りました。



9 条世界会議幕張メッセ会場にて

くさか景子のほっとコラム

海に空に放射能をすてないで！！



—六ヶ所村再処理工場 6 月本格稼働に反対—

六ヶ所村は青森県の下北半島の付け根にあり、原発から出る「使用済み核燃料」のプルトニウムを取り出す再処理工場です。プルトニウムは、「地球上で一番猛毒」といわれ非常に危険な物質です。再処理というトリサイクルのようでやさしく聞こえますが、大量の放射性廃棄物を環境中に放出します。高さ 150メートルの煙突から気体状の放射能を大気にまき散らし、液体状の廃液を沖合 3キロまで延ばした配管から海に垂れ流されます。

私は、海の環境を守る「サーフライダージャパン」の大勢のサーファーの方たちと反対署名活動を行い、国に六ヶ所村の稼働阻止を訴えました。今年の 7 月は環境サミットの夏となります。サミットを機に稼働反対の世論をつくらうではありませんか。